

兵庫県下の経済動向

平成25年5月

但馬銀行
TAJIMA BANK

目 次

概 況	1
生 産	2
個 人 消 費	4
設 備 投 資	6
住 宅 投 資	8
公 共 工 事	9
貿 易	10
物 価	11
雇 用	13
信 用 保 証	15
金 融	16
倒 産	17

【概 況】

最近の県内景気は、下げ止まりの兆しが窺われる。生産は下げ止まりつつあるほか、個人消費は持ち直しに向けた動きが広がっている。公共投資は増加している。一方、輸出は一進一退の動きを繰り返しているほか、設備投資は弱めとなっている。この間、雇用・所得環境は改善の動きが一服している。

需要面の動きをみると、個人消費は、百貨店売上高が2か月ぶりに前年を下回った。乗用車販売は、軽自動車が増加したものの、普通乗用車および小型乗用車が増加し、全体では8か月ぶりに前年を上回った。家電販売は、スマートフォン等が引き続き好調であるものの、薄型テレビが大幅な減少を続けていることから、全体としても低調に推移している。

設備投資は、製造業および非製造業ともに減少を見込んでおり、25年度も減少計画となっている。

住宅投資は、分譲が減少したことから、全体では2か月ぶりに前年を下回った。

公共工事請負金額は、兵庫県、その他団体が増加したものの、国、独立行政法人等、神戸市で減少したことから、3か月連続で前年を下回った。基調としては増加している。

貿易は、輸出は中国を含むアジア向けが減少したが、米国およびEU向けが増加し、2か月ぶりに前年を上回った。また、輸入については3か月連続で前年を上回った。

生産活動は、鉱工業生産指数でみると、2か月連続で前年を上回った。

雇用関係では、有効求人倍率は前月から横ばい、新規求人数は前年を下回った。

また、一人当たり名目賃金は、前年を上回ったものの、所定外労働時間および常用労働者数は前年を下回った。

金融情勢は、預金が前年を上回って推移しているものの、貸出については前年並みの水準で推移している。

企業倒産は、件数は前年と同数であったが、負債金額は前年を下回った。

兵庫DI及び兵庫CIから見た県内の景気動向

2月の兵庫DIは、先行指数42.9%、一致指数50.0%、遅行指数37.5%となった。

2月の兵庫CIは、先行指数90.2、一致指数91.2、遅行指数98.7となった。

兵庫DIは、先行指数が4か月ぶりに好不況の判断の分かれ目となる50%を下回り、一致指数が2か月連続で50%を上回った。

一方、兵庫CIは、先行指数は2か月ぶりに前月差増、一致指数は3か月連続で前月差増、遅行指数は5か月ぶりに前月差増となった。

県統計課は基調判断を「一致指数は下げ止まりを示している。」としている。

*兵庫DIと兵庫CI・・・兵庫県内の経済指標から景気の状態を導く指数。県景気変動指数(兵庫DI)は50%が好不況の別れ目で、景気の拡張、後退などを判断する。県景気総合指数(兵庫CI)は景気変動の大きさを測定し、指数の前月との差の大小をみる。

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課

【生 産】

3月の県鉱工業生産指数(平成17年=100、季節調整済、速報)は90.5、前月比3.7%増加。出荷指数は86.6、同0.2%増加。在庫指数は123.1、同0.1%増加。在庫率は130.5、同2.2%低下。生産指数はおよび出荷指数は2か月連続で上昇、在庫指数は6か月ぶりに上昇した。

前年同月比(原指数)では、生産が9.3%減で13か月連続、出荷は11.0%減で14か月連続で低下した。また在庫は9.5%減で3か月連続で低下した。

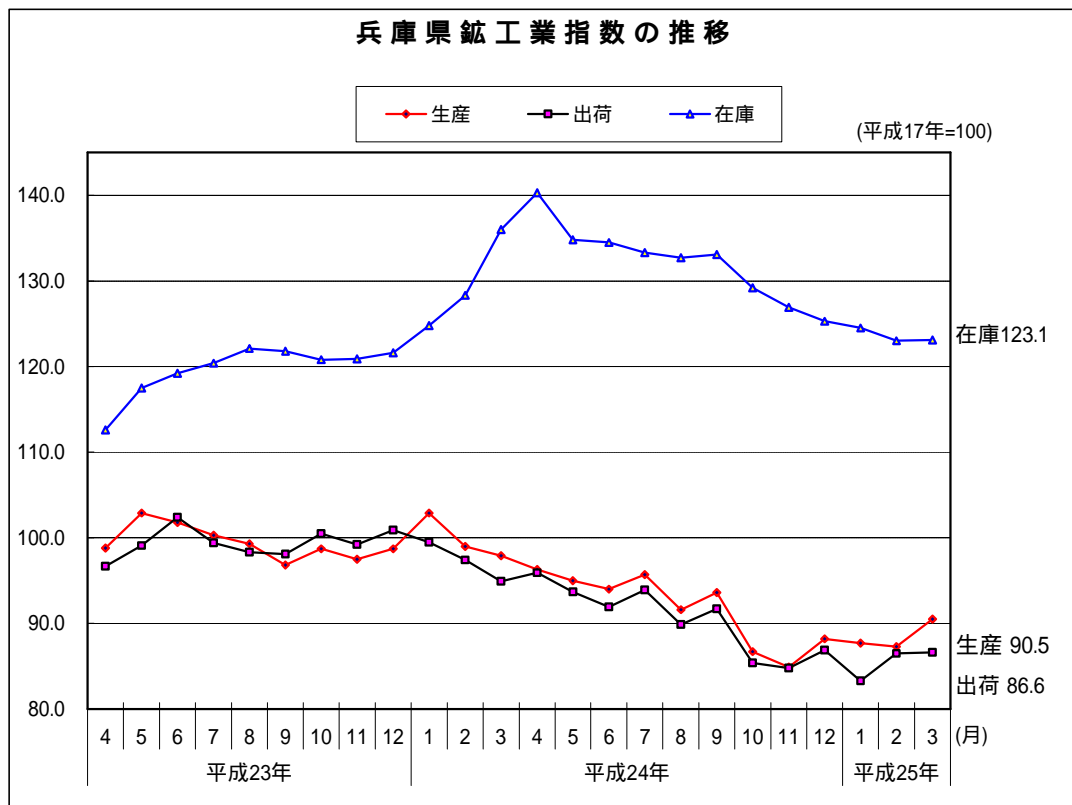
主要業種の生産動向を対前月比で見ると、蒸気タービン部品、一般用蒸気タービン等の「一般機械」が19.5%、パーソナルコンピュータ等の「情報通信機械」が13.7%、化粧品等の「化学」が9.9%、ビール類等の「食料品」が2.1%、特殊鋼熱間延鋼材等の「鉄鋼」が2.0%、各々上昇し、電界効果型トランジスタ等の「電子部品・デバイス」が18.3%、船用ディーゼル機関等の「輸送機械」が12.4%、うす板ばね等の「金属製品」が3.4%、リチウムイオン蓄電池等の「電気機械」が0.1%、各々低下した。

県統計課は、基調判断を「下げ止っており、一部に持ち直しの動きが見られる」とした。

3月の兵庫県鉱工業指数 (速報、平成17年=100)

区 分	季節調整済指数	対前月比増減(%)	原 指 数	
			原指数	対前年同月比増減(%)
生 産	90.5	3.7	99.7	9.3
出 荷	86.6	0.2	97.5	11.0
在 庫	123.1	0.1	119.1	9.5
在 庫 率	130.5	2.2	119.5	3.9

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課



3月の県内鉱工業生産指数(主要9業種の動向)

(速報、平成17年=100)

業 種	指 数	対前月比 増減 %	指数の上昇又は低下に寄与した品目	
鉄 鋼	96.0	2.0	上昇	特殊鋼熱間圧延鋼材、普通鋼鋼管、鋳鉄鋼、亜鉛めっき鋼板
			低下	普通鋼鋼板、特殊鋼冷間仕上鋼材(圧延鋼材)、普通鋼鋼管、鋼半製品
金属製品	81.7	3.4	上昇	ガス風呂がま、超硬チップ、粉末や金製機械材料、鋼索
			低下	うす板ばね、鋼管製管継手、ガス湯沸器、石油温水給湯暖房機
一般機械	86.9	19.5	上昇	蒸気タービン部品、一般用蒸気タービン、ショベル系掘削機械、プレス用金型
			低下	建設用クレーン、混合機・かくはん機・粉碎機、ボイラ部品、はん用内燃機関
電気機械	126.9	0.1	上昇	電力変換装置、電気がま、クッキングヒーター、太陽電池モジュール、
			低下	リチウムイオン蓄電池、一般用タービン発電機、アルカリ蓄電池、一般用エンジン発電機
情報通信 機械	101.4	13.7	上昇	パーソナルコンピュータ、テレメータ・テレコントロール、無線位置測定装置、放送装置
			低下	固定通信装置、陸上移動通信装置(携帯電話以外)、カーナビゲーション、レーダ装置、
電子部品 デバイス	68.8	18.3	上昇	アクティブ型液晶素子(7.7インチ以上)、PDPモジュール、レーザダイオード、アクティブ型液晶素子(7.7インチ未満)
			低下	電界効果型トランジスタ、スイッチング電源、線形半導体集積回路、シリコントランジスタ(1W以上)
輸送機械	67.6	12.4	上昇	駆動伝導・操縦装置部品、特装自動車、シャシー・車体部品
			低下	船用ディーゼル機関、旅客車、二輪自動車(125ml以下)、ショベルトラック
化 学	86.3	9.9	上昇	化粧品、医薬品、無水酢酸、シンナー
			低下	エポキシ樹脂、溶剤系合成樹脂塗料、精製グリセリン(98.5%換算)、自動車排気ガス浄化用触媒
食 料 品	98.6	2.1	上昇	ビール類、清酒、冷凍調理食品、めん類
			低下	砂糖、醤油、塩、牛乳

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課

【個人消費】『百貨店売上』

兵庫県百貨店協会がまとめた4月の県内百貨店売上高は、前年同月比2.9%減の16億53百万円で、2か月ぶりに減少した。天候不順の影響で、春物の衣料品が全体的に低調だった。

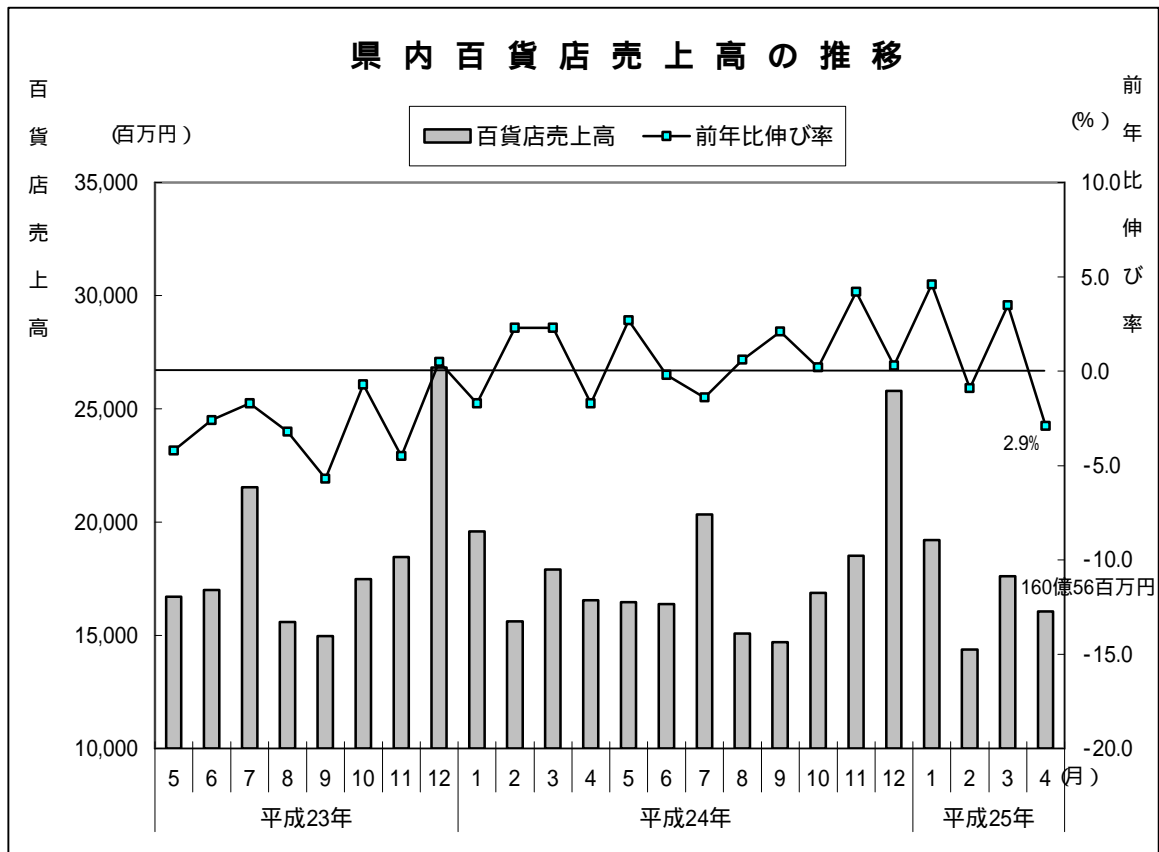
神戸地区は4.2%減。大丸新長田店が1月末に閉店したこと、神戸ハーバーランドのウミエなど相次いでオープンした商業施設の影響もあり、全体を引き下げた。

姫路・加古川地区は3.1%増。3月下旬にJR姫路駅からの地下通路が開通し、食品などが好調だった。

4月の県内百貨店売上高

品目 \ 地区	神戸	姫路	合計
紳士服・洋品	703(9.6)	181(6.4)	884(9.0)
婦人服・洋品	4,237(3.1)	714(0.8)	4,952(2.6)
子供服・洋品	385(11.5)	93(2.1)	479(9.8)
身の回り品	1,395(7.1)	302(3.3)	1,698(6.5)
家庭用品	561(5.3)	161(2.8)	722(4.7)
食料品	3,316(6.3)	751(7.7)	4,068(4.0)
雑貨	1,872(0.9)	431(7.2)	2,303(2.0)
その他	642(4.0)	300(6.9)	943(0.7)
計	13,115(4.2)	2,937(3.1)	16,053(2.9)

* 単位百万円、未満切捨て。()内は前年同月比伸び率% 資料：兵庫県百貨店協会
 神戸地区には芦屋・宝塚、姫路地区には加古川を含む。



【個人消費】『新車登録』

県内4月の乗用車新車登録台数は11,979台、前年同月比2.1%増と7か月ぶりに前年同月の実績を上回った。

4月の乗用車新車登録を車種別にみると、普通乗用車は4,171台(前年同月比10.9%増)、小型乗用車は3,556台(同0.4%増)、軽乗用車は4,252台(同3.9%減)、乗用車合計で11,979台(同2.1%増)となった。

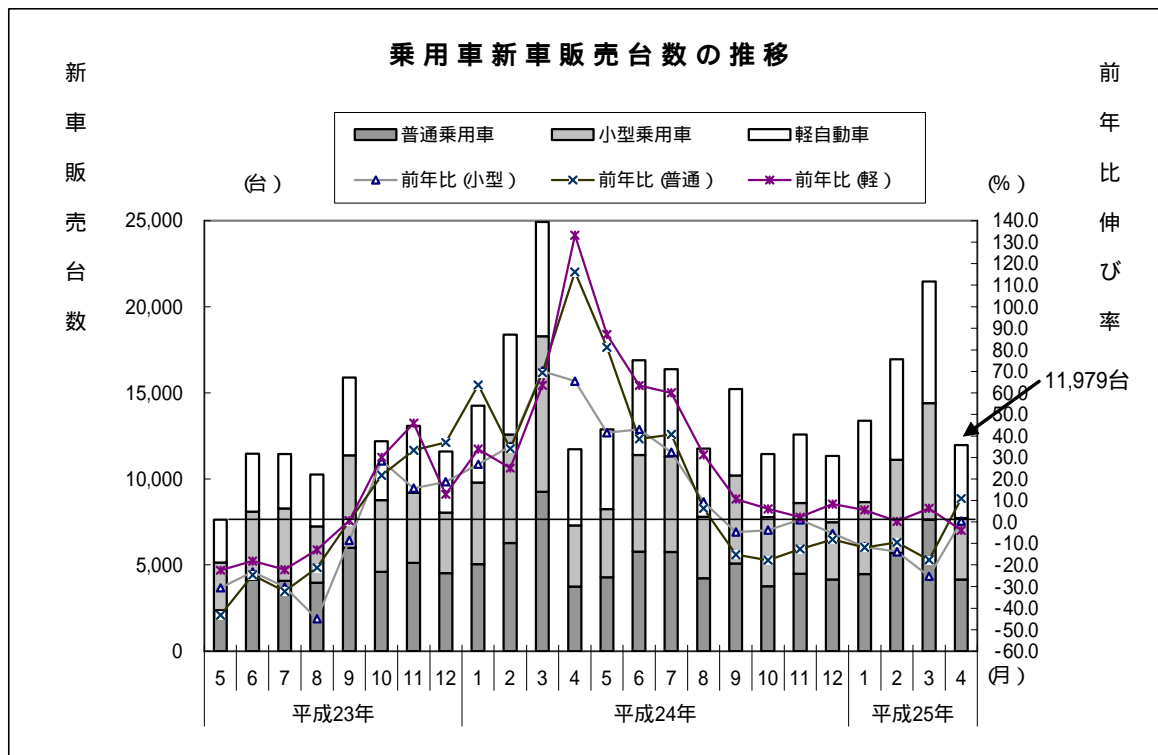
また貨物車等では、普通貨物車は197台(同7.5%減)、小型貨物車は503台(同24.5%増)、軽貨物車は1,071台(同0.1%増)、バスは38台(同15.6%減)となった。

4月の新車販売(登録)台数

(単位：台、%)

車種	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
普通乗用車	4,171	10.9	91,039	4.9
小型乗用車	3,556	0.4	96,580	3.7
軽乗用車	4,252	3.9	120,937	1.4
乗用車合計	11,979	2.1	308,556	0.7
普通貨物車	197	7.5	7,841	2.1
小型貨物車	503	24.5	16,804	29.9
軽貨物車	1,071	0.1	31,062	1.1
貨物車合計	1,771	5.6	55,707	6.4
バス	38	15.6	901	10.1
登録車総計	13,788	2.5	365,164	1.5

資料：自販連兵庫県支部、兵庫県軽自動車協会



【設備投資】

内閣府が5月17日に発表した機械受注統計によると、平成25年3月実績は以下のとおり。

最近の機械受注総額(季節調整値)の動向をみると、25年2月前月比0.9%増の後、25年3月は同27.8%増の2兆3,618億円となった。

このうち民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」は、2月前月比4.2%増の後、3月は同14.2%増の7,931億円となった。

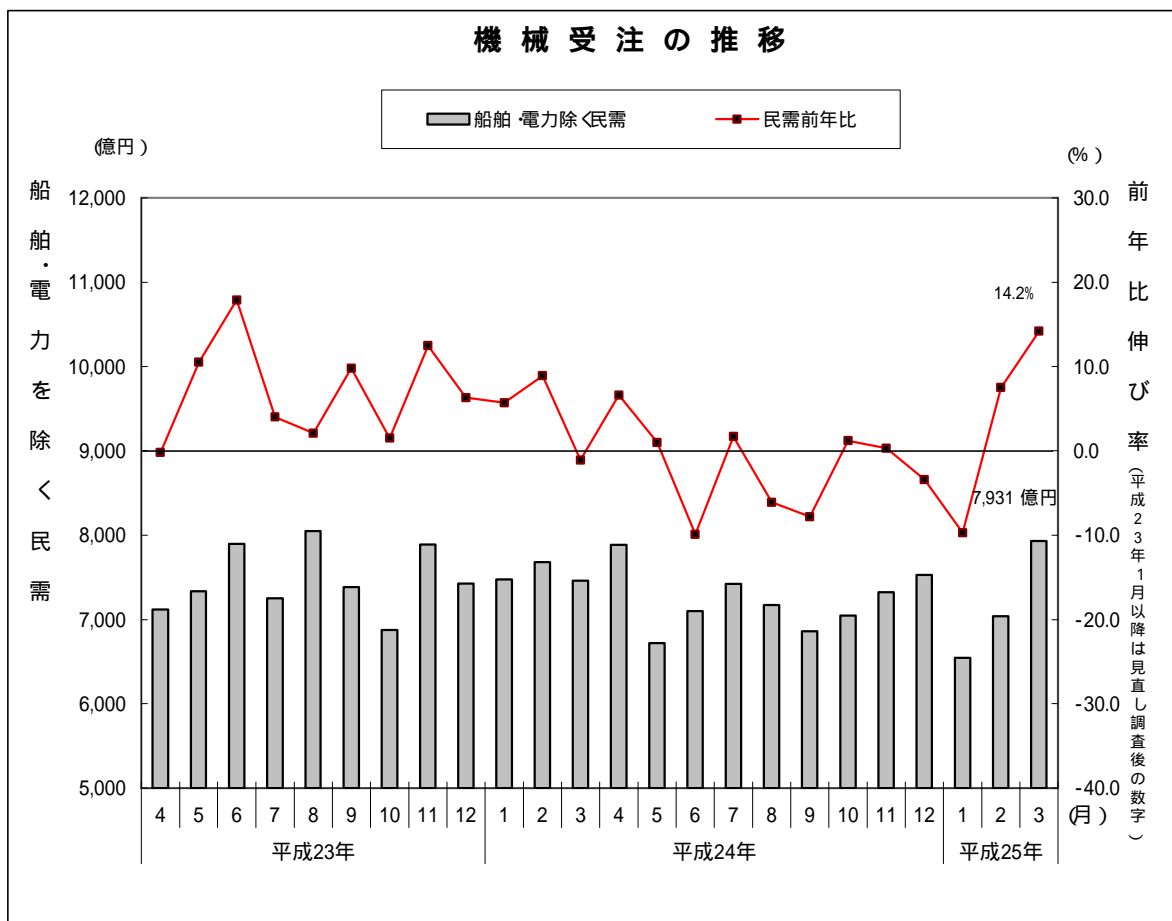
内訳をみると、製造業が同13.3%増の3,087億円、非製造業(船舶・電力を除く)は同14.3%増の4,759億円であった。

製造業民需受注を業種別でみると、前月比で増加したのは15業種中、石油製品・石炭製品(237.3%増)、パルプ・紙・紙加工品(79.4%増)、造船業(63.8%増)、情報通信機械(25.9%増)、食品製造業(17.9%増)等の9業種で、鉄鋼業(33.1%減)、化学工業(20.7%減)、金属製品(7.8%減)、精密機械(5.7%減)等の6業種は減少となった。

一方、非製造業では、前月比で増加したのは12業種中、電力業(73.1%増)、金融業・保険業(54.2%増)、運輸業・郵便業(33.1%増)、不動産業(26.1%増)、情報サービス(18.0%増)等の9業種で、鉱業・採石業・砂利採取業(14.3%減)、農林漁業(8.2%減)等の3業種は減少となった。

兵庫県下においては、2012年度設備投資額は、非製造業は減少を見込んでいるものの、製造業が増加を見込んでおり、全産業では増加計画となっている。

* 全国企業短期経済観測調査(短観)結果 2013年3月 兵庫県
設備投資計画：全産業前年度比+12.5% (製造業+22.8%、非製造業 17.8%)



機械受注統計（平成25年3月分）

	24年 4~6月 実績	7~9月 実績	10~12月 実績	25年 1~3月 実績	4~6月 見通し	24年 12月 実績	25年 1月 実績	2月 実績	3月 実績
受注総額	59,338 (-12.2) [-4.0]	54,382 (-8.4) [-8.3]	56,379 (3.7) [-9.7]	60,410 (7.1) [-5.3]	57,414 (-5.0) [-8.9]	18,116 (-9.0) [-12.5]	18,313 (1.1) [-24.8]	18,479 (0.9) [-14.8]	23,618 (27.8) [11.5]
民需	26,097 (-2.6) [-5.8]	25,526 (-2.2) [-7.1]	25,341 (-0.7) [-5.6]	25,477 (0.5) [-2.0]	23,962 (-5.9) [-14.6]	8,310 (-4.3) [-1.2]	8,029 (-3.4) [-9.1]	7,851 (-2.2) [-14.0]	9,598 (22.3) [8.3]
“(Ex 船・電)	22,007 (-2.6) [-1.7]	21,715 (-1.3) [-4.6]	21,546 (-0.8) [-0.8]	21,539 (-0.0) [-4.6]	21,214 (-1.5) [-7.7]	7,205 (-1.3) [-3.4]	6,663 (-7.5) [-9.7]	6,945 (4.2) [-11.3]	7,931 (14.2) [2.4]
製造業	9,313 (-3.4) [-7.6]	9,031 (-3.0) [-9.5]	8,550 (-5.3) [-11.1]	8,407 (-0.7) [-12.1]	8,478 (0.8) [-13.0]	2,885 (1.0) [-9.8]	2,597 (-10.0) [-19.0]	2,724 (4.9) [-18.2]	3,087 (13.3) [-3.9]
非製造業 (Ex 船・電)	12,808 (-0.7) [3.1]	12,772 (-0.3) [-1.3]	13,491 (5.6) [7.4]	13,702 (-3.1) [2.8]	13,005 (-0.5) [-3.0]	4,347 (-7.8) [1.6]	4,150 (-4.5) [-1.5]	4,164 (0.3) [-5.5]	4,759 (14.3) [9.8]
官公需	7,689 (1.0) [26.7]	7,202 (-6.3) [18.1]	6,942 (-3.6) [-1.5]	6,949 (0.1) [-6.9]	8,791 (26.5) [7.5]	2,414 (6.8) [-10.9]	1,997 (-17.3) [-21.8]	2,300 (15.2) [1.5]	2,651 (15.2) [-5.9]
外需	22,009 (-15.6) [-9.4]	20,593 (-10.5) [-18.0]	21,246 (3.2) [-16.5]	23,670 (11.4) [-8.8]	22,138 (-6.5) [-7.5]	6,930 (-8.3) [-24.1]	6,676 (-3.7) [-36.7]	6,740 (1.0) [-21.0]	10,254 (52.1) [27.5]
代理店	2,759 (-4.0) [7.8]	2,720 (-1.4) [11.7]	2,648 (-2.6) [-1.8]	3,000 (13.3) [4.2]	2,851 (-5.0) [1.8]	902 (2.2) [-1.2]	897 (-0.6) [2.2]	894 (-0.3) [-4.1]	1,209 (35.2) [11.3]

資料：内閣府経済社会総合研究所

- 備考
1. 季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。
 2. 四半期は合計額、()内は対前期(月)増減率、[]内は原系列による対前年同期(月)増減率。

【住宅投資】

県内3月の新設住宅着工戸数は、総数で2,732戸(前年同月比6.5%減)となり、分譲住宅を除く持家、貸家、給与住宅が増加したが、全体では2か月ぶりに前年を下回った。また、前月比では125戸の増加となった。

3月の新設住宅着工戸数

(速報、単位：戸、%)

	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
持家系・持家	888	11.6	24,879	11.4
・分譲住宅	923	35.9	20,184	0.3
貸家系・貸家	832	22.4	25,986	10.7
・給与住宅	89	1,383.3	407	25.9
総数	2,732	6.5	71,456	7.3

資料：兵庫県住宅計画課、国土交通省

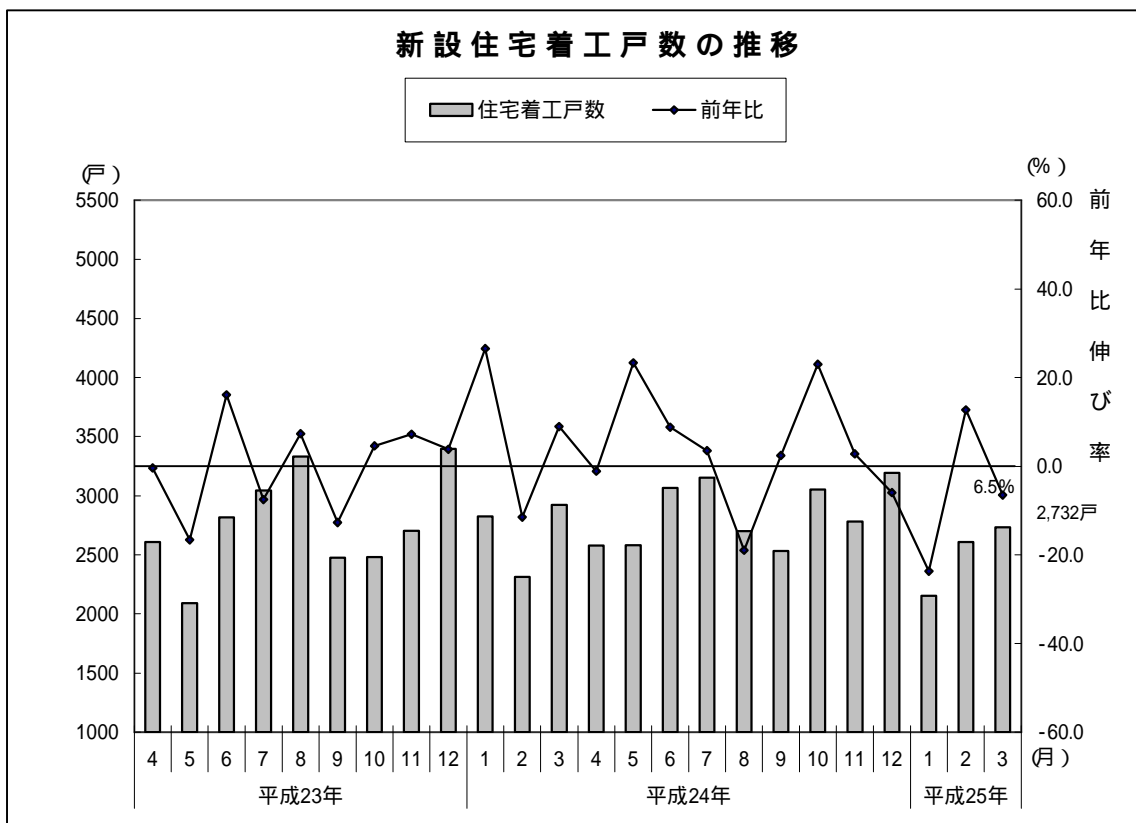
3月の地域別着工戸数

(戸)

地域	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	計
戸数	588	570	384	588	117	353	62	22	21	27	2,732
前月比	-107	73	-93	336	-16	-18	-32	0	1	-19	125

資料：兵庫県住宅計画課

平成25年3月の新設住宅着工累計は、総数で33,129戸、前年同期比116戸の増加となった。利用関係別では「持家」が10,927戸(前年同期比1.5%増)、「分譲住宅」が12,092戸(同3.3%減)、「貸家」が9,653戸(同1.0%増)、「給与住宅」が457戸(同151.1%増)となった。



【公共工事】

4月の県内公共工事動向を西日本建設業保証(株)兵庫支店の前払金保証取扱状況でみると、件数は369件で前年同月比12.8%の減少、請負金額は336億86百万円で同9.4%の減少となり、金額ベースでは3か月連続で前年同月を下回った。

発注者別(金額ベース)にみると、「その他の団体」が前年同月比102.6%、「兵庫県」同33.2%が増加となったものの、「神戸市」が同69.8%、「神戸市を除く市町」同31.1%、「国」同29.4%、「独立行政法人等」同22.1%の減少となり、前年同月を下回った。

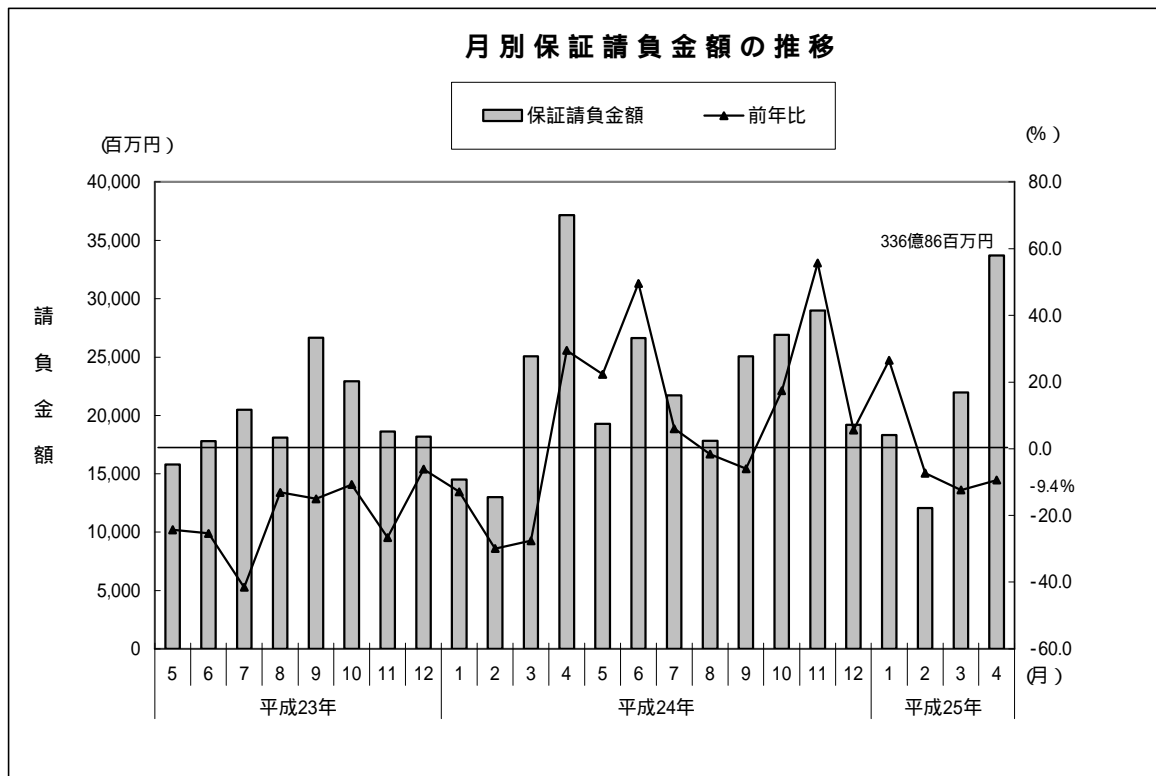
地域別(金額ベース)では、阪神南(同151.1%)、西播磨(同35.4%)、北播磨(同12.6%)で増加、淡路(同51.6%)、神戸市(同43.0%)、阪神北(同42.5%)、但馬(同29.5%)、東播磨(同23.5%)、丹波(同13.4%)、中播磨(同8.7%)で減少となった。

4月の公共工事発注状況

金額単位未満切捨て、()内は前年同月比伸び率増減：%

発注者	件数	金額(百万円)	大型工事明細(5億円以上)
国	9(18.2)	757(29.4)	
独立行政法人等	19(35.7)	5,494(22.1)	新名神高速道路武庫川橋工事、新名神高速道路中高架橋他1橋工事、新名神高速道路一庫大路次川橋1橋工事
兵庫県	213(19.0)	17,916(33.2)	武庫川下流域下水道南武ポンプ場特高受変電設備改築工事、塚口統合新病院第1期建築工事
神戸市	30(21.1)	1,780(69.8)	
神戸市を除く市町	86(1.1)	6,131(31.1)	明石市立二見中学校南校舎改築工事、由良小学校改築工事、西脇市立学校給食センター改築工事
その他の団体	12(20.0)	1,606(102.6)	社会福祉法人あそふ豊岡市地域密着型特別養護老人ホーム新築工事
合計	369(12.8)	33,686(9.4)	

資料：西日本建設業保証(株)



【貿易】

平成25年3月の神戸港貿易概況(速報)によると、輸出入総額は7,286億円、前年同月比2.5%の増加で、総額ベースで2か月ぶりに増額となった。輸出は、重電機器などが減少したものの、科学光学機器などが増加した。一方、輸入は、衣類および同付属品などが減少したものの、たばこ、半導体等電子部品などが増加した。

輸出は5,051億円(前年同月比3.5%増)と2か月ぶりに増加した。

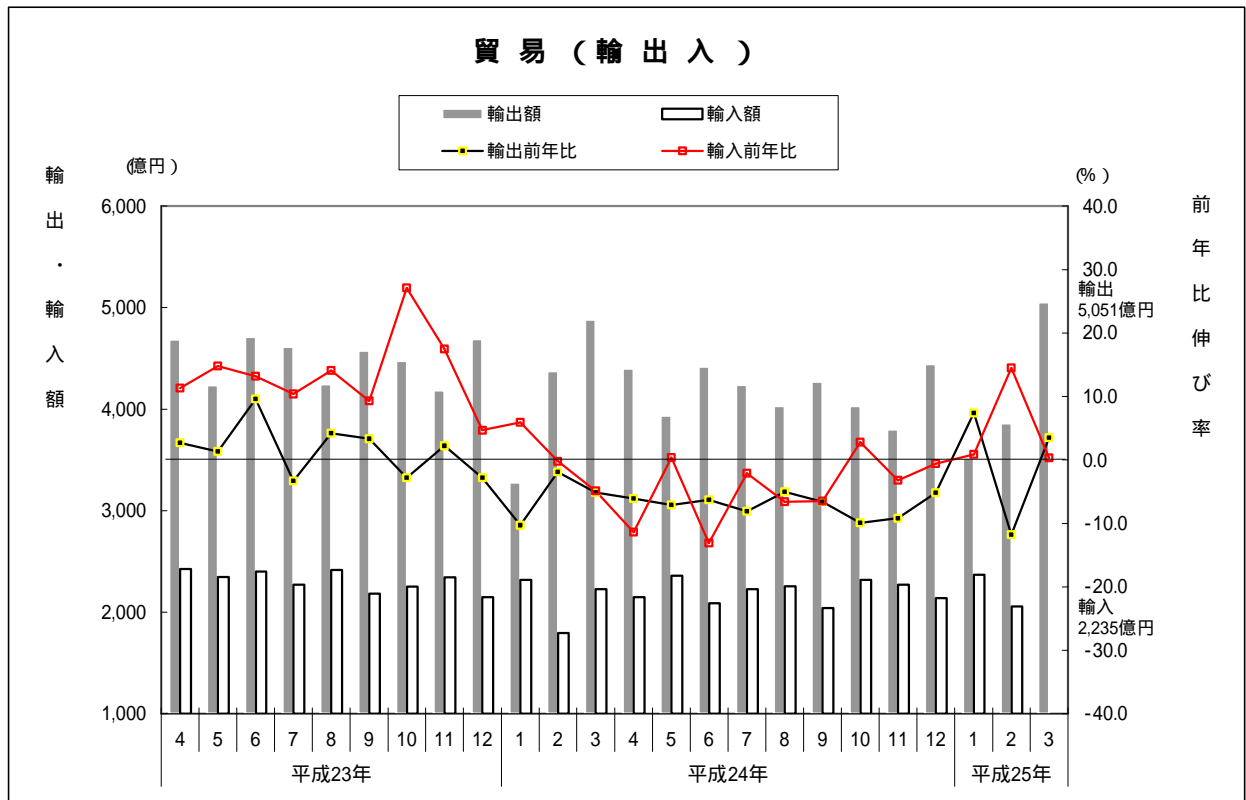
主要品目では、建設用・鉱山用機械(前年同月比19.5%増、3か月ぶりにプラス)、原動機(同18.9%増、5か月ぶりにプラス)、プラスチック(同12.9%増、3か月連続プラス)、織物用糸および繊維製品(同9.9%増、2日月ぶりにプラス)が増加した。

主要地域(国)別では、米国(前年同月比15.6%増、9か月連続プラス)、EU(同6.9%増、2か月連続プラス)、中国(同2.1%増、18か月ぶりにプラス)が増加し、アジア(中国含む)(同1.8%減、2か月連続マイナス)が減少した。

輸入は2,235億円(前年同月比0.3%増)と3か月連続で増加した。

主要品目では、たばこ(同38.8%増、3か月ぶりにプラス)が増加し、衣類および同付属品(同23.9%減、2か月ぶりにマイナス)、非鉄金属(同12.3%減、4か月連続マイナス)、有機化合物(前年同月比7.6%減、6か月ぶりにマイナス)が減少した。

主要地域(国)別では、EU(前年同月比12.0%増、4か月連続プラス)が増加し、中国(同9.0%減、2か月ぶりにマイナス)、米国(同5.3%減、4か月ぶりにマイナス)、アジア(中国含む)(同4.2%減、2か月ぶりにマイナス)が減少した。



【物 価】『消費者物価』

4月の神戸市消費者物価指数は、総合指数が99.4(平成22年=100)となり、前月比は0.3%上昇、前年同月比は0.9%下落となった。生鮮食品を除く総合指数は99.7となり、前月比は0.3%上昇、前年同月比は0.5%下落となった。また、食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数は99.3となり、前月比は0.3%上昇、前年同月比は0.5%下落となった。

前月からの動きを見ると、理美容用品などの値下がりにより「諸雑費」が0.4%、家賃の値下がりにより「住居」が0.1%、それぞれ下落した。しかしながら、教養娯楽用耐久財などの値上がりにより「教養娯楽」が1.1%、肉などの値上がりにより「食料」が0.3%、自動車関連費の値上がりにより「交通・通信」が0.6%、ガス代などの値上がりにより「光熱・水道」が0.9%、授業料等の値上がりにより「教育」が0.5%、家庭用耐久財などの値上がりにより「家具・家事用品」が0.8%、衣料などの値上がりにより「被服及び履物」が0.3%、それぞれ上昇した結果、総合では0.3%の上昇となった。

4月の神戸市消費者物価指数(速報)

	総合	食料	住居	光熱 水道	家具 家事用品	被服及 履物	保健 医療	交通 通信	教育	教養 娯楽	諸雑費	生鮮食品を 除く総合	食料・エネ ルギーを 除く総合
指 数	99.4	97.1	101.8	105.8	96.8	100.1	97.4	99.9	101.0	94.6	103.1	99.7	99.3
前月比	0.3	0.3	-0.1	0.9	0.8	0.3	0.0	0.6	0.5	1.1	-0.4	0.3	0.3
前年同月比	-0.9	-2.6	0.0	0.8	-1.1	-1.9	-1.2	0.5	0.9	-2.6	0.6	-0.5	-0.5

(注)平成22年=100

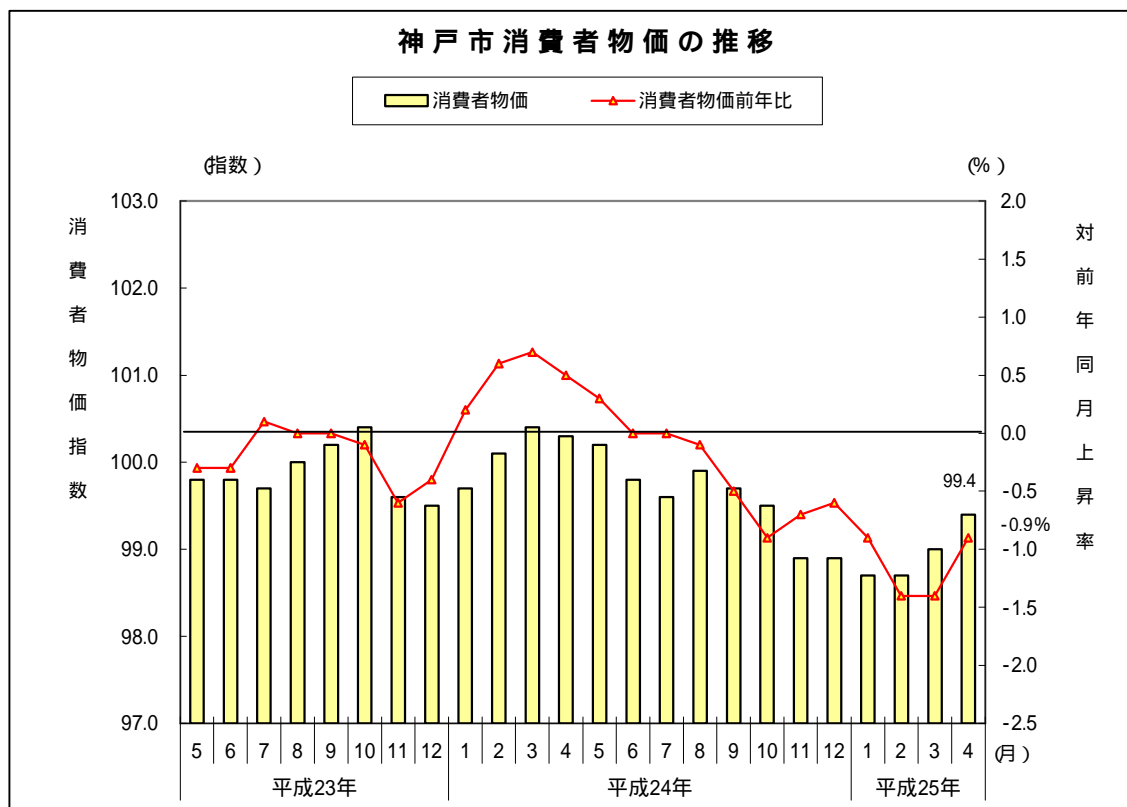
資料：兵庫県統計課

対前月比値上がりした主な品目

教養娯楽サービス (+ 1.5%)・・・外国パック旅行、宿泊料、ゴルフプレー料金
肉類 (+ 2.5%)・・・牛肉(国産ロース) 豚肉(もも) ソーセージ

対前月比値下がりした主な品目

理美容用品 (- 2.0%)・・・ヘアカラー、化粧水、化粧石けん
家賃 (- 0.2%)・・・民営家賃



【物 価】『企業物価』

日本銀行調査統計局が5月14日に発表した、企業物価指数(速報)による2013年4月の企業物価指数は次のとおり。

4月の企業物価指数

(速報、2010年=100)

	指 数	前月比(%)	前年同月比(%)
国内企業物価	101.4	0.3	0.0
輸出物価	107.5	0.7	8.9
輸入物価	123.8	1.3	9.5

資料：日本銀行調査統計局

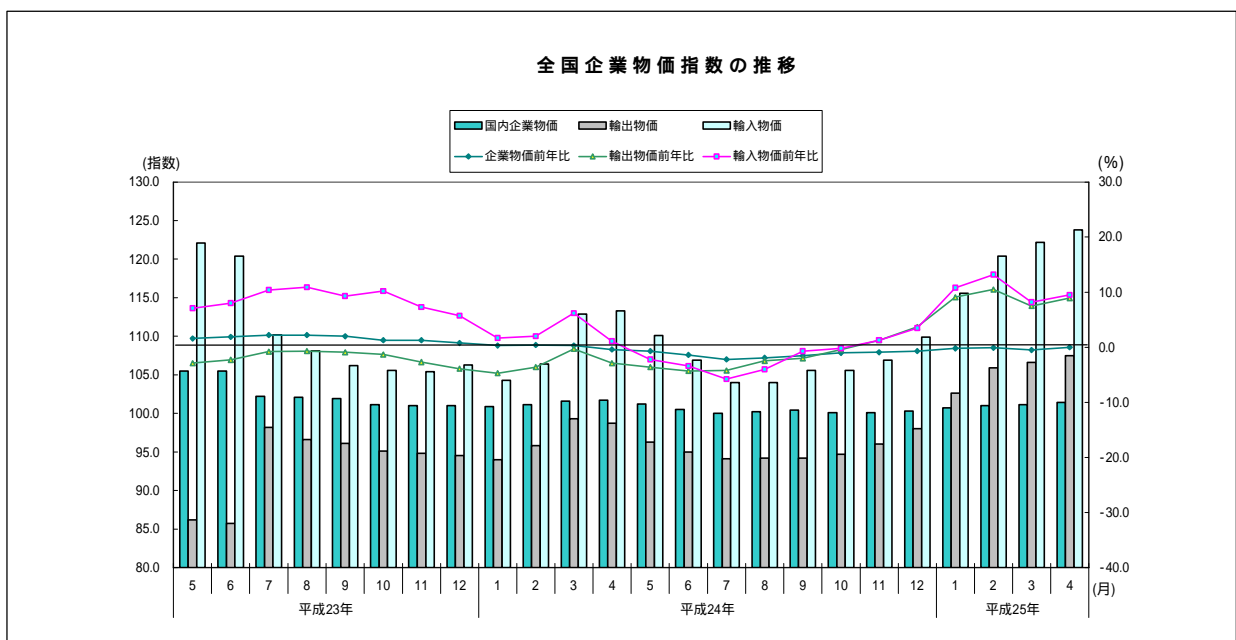
国内企業物価は、スクラップ類(前月比-3.1%<鉄くずなど>)、非鉄金属(同-0.7%<銅地金など>)等が下落したが、電力・都市ガス・水道(同+3.3%<産業用特別高圧電力など>)、製材・木製品(同+3.3%<住宅建築用木製組立材料など>)、鉄鋼(同+0.4%<熱延広幅鋼など>)、食料品・飲料・たばこ・飼料(同+0.4%<配合飼料など>)等が上昇し、全体では前月比0.3%の上昇となった。

前年同月比は、横ばいとなった。

上昇率がマイナス傾向から抜け出すのは2012年3月以来、1年1か月ぶりとなった。

輸出物価は、化学製品(前月比-0.3%<パラキシレンなど>)等が下落したものの、その他産品・製品(同+0.7%<軽油など>)、金属・同製品(前月比+0.6%<銅地金、鉄くずなど>)、輸送用機器(同+0.5%<普通乗用車など>)が上昇し、円ベースでは前月比0.7%の上昇(前年同月比+8.9%)となった。

輸入物価は、石油・石炭・天然ガス(前月比-0.8%<原油など>)等が下落したものの、金属・同製品(同+7.0%<銅鉱、銅・同金属など>)、電気・電子機器(同+1.4%<携帯電話機など>)、繊維品(同+0.6%<女子用スーツ類など>)等が上昇し、円ベースでは前月比1.3%の上昇(前年同月比+9.5%)となった。



【雇 用】

(1) 求人状況

県内3月の新規求人数(全数)は、27,658人(前年同月比0.3%減、前月比0.3%減)で、20か月ぶりに前年を下回った。また、月間有効求人数(全数)は75,457人(前年同月比4.5%増、前月比4.3%増)で35か月連続して前年を上回った。

雇用形態別(新規求人)にみると、一般常用では前年同月比1.6%減で37か月ぶりに前年を下回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)については同3.6%増で16か月連続して前年を上回った。また臨時・季節では同22.7%増で2か月ぶりに前年を下回った。

さらに、新規求人を主要産業別にみると、建設業(前年同月比1.6%増)、卸売業、小売業(同2.0%増)、学術研究、専門・技術サービス業(同3.7%増)、医療・、福祉(同13.0%増)は前年を上回ったが、製造業(同18.5%減)、情報通信業(同4.9%減)、運輸業、郵便業(同18.5%減)、宿泊業、飲食サービス業(同5.6%減)、生活関連サービス業、娯楽業(同8.6%減)、サービス業(同9.4%増)は前年を下回った。

(2) 求職状況

3月の新規求職申込件数(全数)は、24,125件(前年同月比4.4%減、前月比5.2%増)で、2か月連続して前年を下回った。また、月間有効求職者数(全数)は99,824人(前年同月比2.6%減、前月比6.6%増)で34か月連続して前年を下回った。

雇用形態別(新規求職)にみると、一般常用では前年同月比5.6%減で2か月連続して前年を下回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)では同0.9%減で2か月連続して前年を下回った。また、臨時・季節については、前年同月比43.6%減で7か月連続して前年を下回った。

さらに、新規常用求職者(パートを除く)を就業・不就業の態様別にみると、在職者は前年同月比3.4%増で7か月連続して前年を上回ったが、事業主都合離職者は同7.2%減で2か月連続、自己都合離職者は同0.8%減で2か月連続、自営・他は同3.8%減で22か月連続、無業者は同30.0%減で15か月連続して前年を下回った。

なお、雇用保険失業給付の受給者実人員は、23,618人(前年同月比1.8%減)で、2か月連続して前年を下回った。

(3) 求人倍率状況

3月の求人倍率(季節調整値)は、新規求人倍率が1.18倍で前月を上回り、有効求人倍率については0.71倍で前月から同水準となった。

(4) 失業者の状況

3月の全国の完全失業率(季節調整値)は4.1%、完全失業者数(原数値)は280万人(前年同月比27万人減)となった。また、近畿の完全失業率(原数値)は4.9%(前年同月比0.8ポイント減)で、完全失業者数(原数値)は50万人(前年同月比8万人減)となった。

産業別新規求人数の状況

(新規学卒者を除きパートタイムを含む)

	全 産 業	建 設 業	製 造 業	情 報 通 信 業	運 輸 ・ 郵 便 業	卸 売 ・ 小 売 業	金 融 ・ 保 険 業	不 動 産 ・ 物 品 賃 貸 業	学 術 研 究 ・ 専 門 ・ 技 術 サ ー ビ ス 業	宿 泊 ・ 飲 食 サ ー ビ ス 業	生 活 関 連 サ ー ビ ス ・ 娯 楽 業	医 療 ・ 福 祉	サ ー ビ ス 業
25年3月	27,658	1,928	2,550	352	1,477	4,196	158	466	698	1,886	1,016	7,522	3,487
前年同月比	0.3	1.6	12.9	4.9	18.5	2.0	14.1	5.4	3.7	5.0	8.6	13.0	9.4

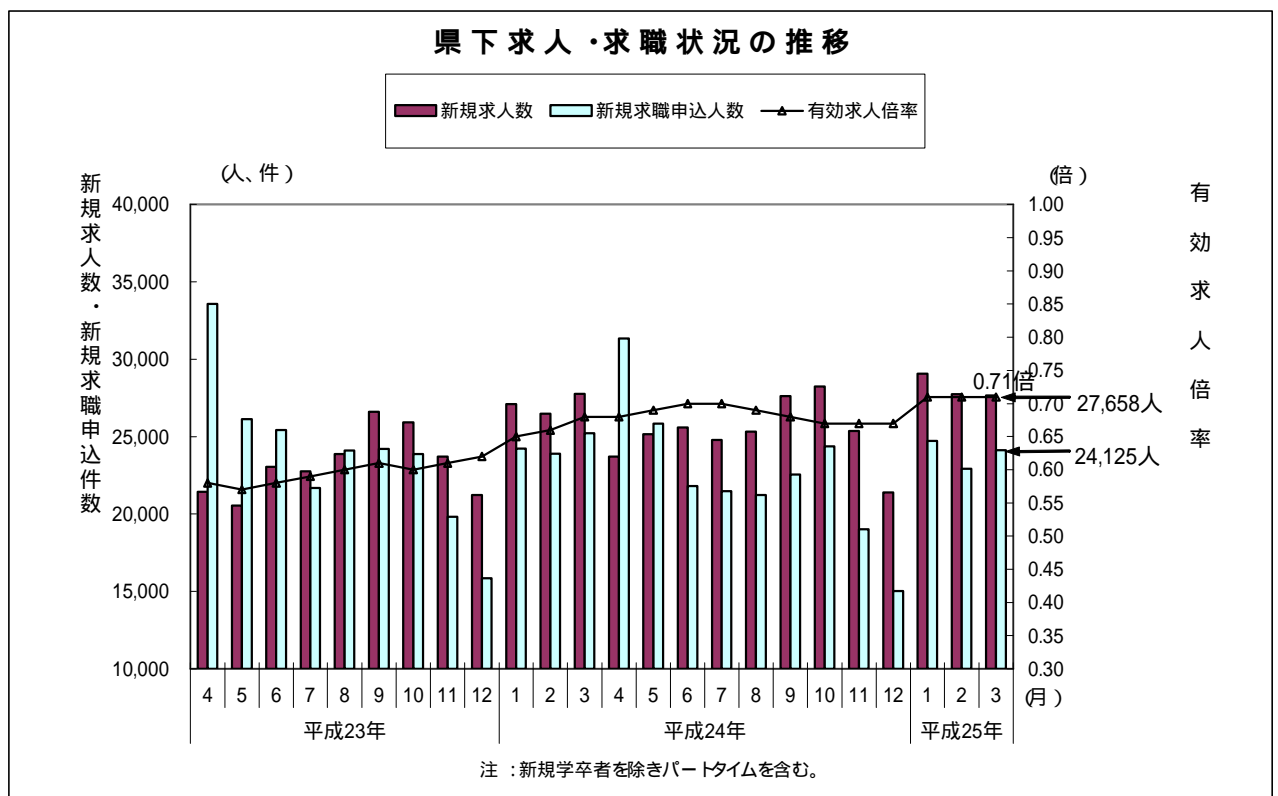
(単位：人、前年同月比増減率：%)

資料：兵庫労働局

雇 用 ・ 賃 金 の 推 移

項 目 ・ 年 月	12/4-6	12/7-9	12/10-12	13/1-3	13/1	13/2	13/3
有 効 求 人 倍 率 (季調済、倍)	0.68	0.69	0.68	0.71	0.71	0.71	0.71
新 規 求 人 数 (原数値、前年比%)	14.5	6.1	5.9	3.8	7.3	4.7	0.3
所 定 外 労 働 時 間 (規模5人以上、前年比%)	5.0	3.6	6.0	4.0	4.3	4.0	3.8
常 用 労 働 者 数 (規模5人以上、前年比%)	0.6	0.6	0.6	1.1	0.9	1.3	1.1
一 人 当 り 名 目 賃 金 (規模5人以上、前年比%)	2.9	2.5	0.0	0.1	0.7	0.2	0.5

資料：兵庫労働局、兵庫県県民政策部



【信用保証】

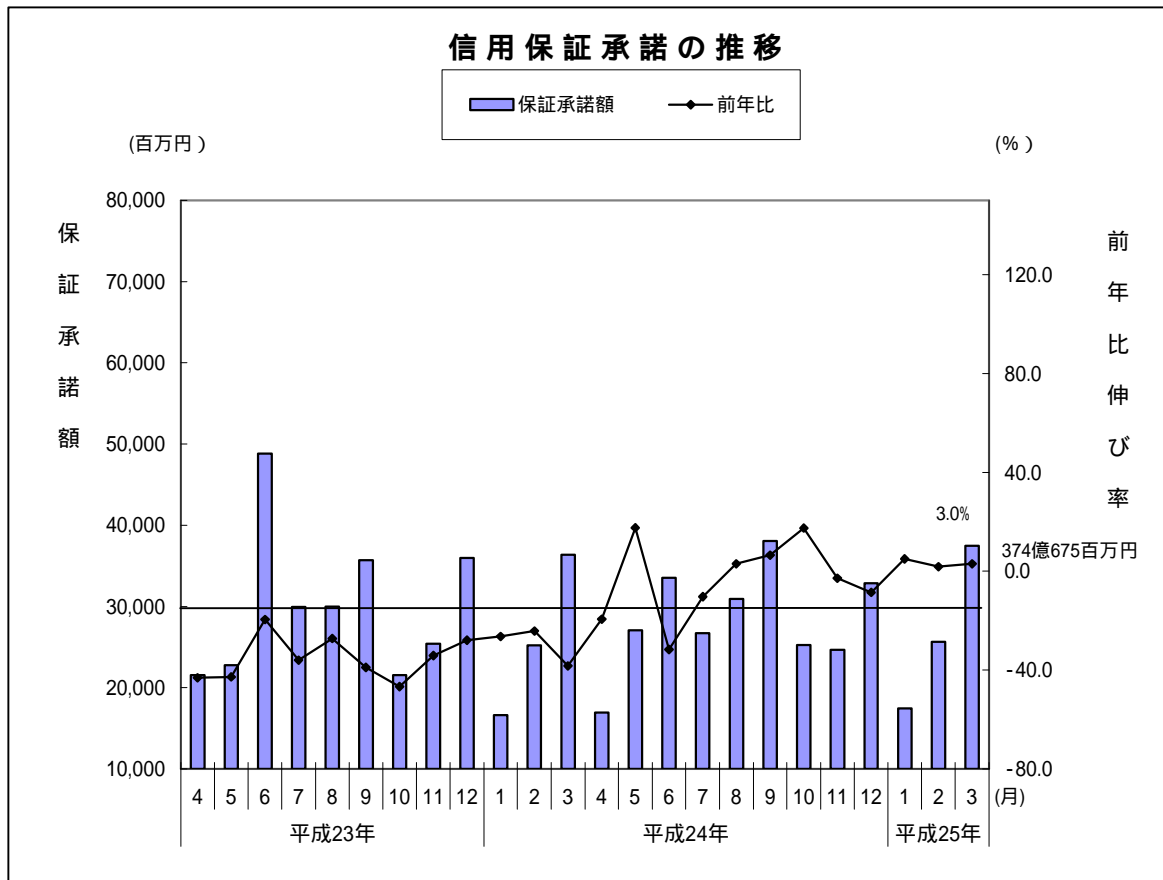
兵庫県信用保証協会による3月の保証承諾実績は、件数で2,147件（前年同月比8.1%減）、金額は374億75百万円（同3.0%増）となり、件数では前年実績を下回ったものの、金額では前年実績を上回った。

資金使途別では、運転資金35,032百万円（前年同月比6.2%増）、設備資金428百万円（同65.4%減）となり、運転資金は前年同月比を上回り、設備資金は前年同月を下回った。

業種別（金額ベース）では、「製造業」8,653百万円（前年同月比9.2%増）、「運送・倉庫業」1,624百万円（同8.7%増）、「サービス業」4,491百万円（同8.2%増）、「建設業」8,516百万円（同6.5%増）、「不動産業」1,474百万円（同3.9%増）、「小売業」4,563百万円（同2.2%増）で前年同月を上回り、「卸売業」7,326百万円（同7.6%減）、「飲食店」715百万円（同8.3%減）で前年同月を下回った。

一方、同月の代位弁済は、433件（前年同月比11.3%増）、54億94百万円（同7.0%増）となった。

3月末の保証債務残高は、107,300件（前年同月比5.7%減）、1兆2,335億円（同8.6%減）となった。



【金融】

2月末の県内金融機関の預貸金残高(日本銀行神戸支店調べ)は以下の通り。

(単位：億円、%)

	預 金	前年同月比	貸 出	前年同月比
都市銀行等	143,818	2.9	55,213	0.3
地方銀行	24,290	2.4	20,768	5.9
第二地方銀行	32,028	3.4	19,785	1.1
信用金庫	79,653	1.0	37,233	2.5
その他	17,288	2.2	17,097	0.3
計	297,077	2.4	150,096	0.4

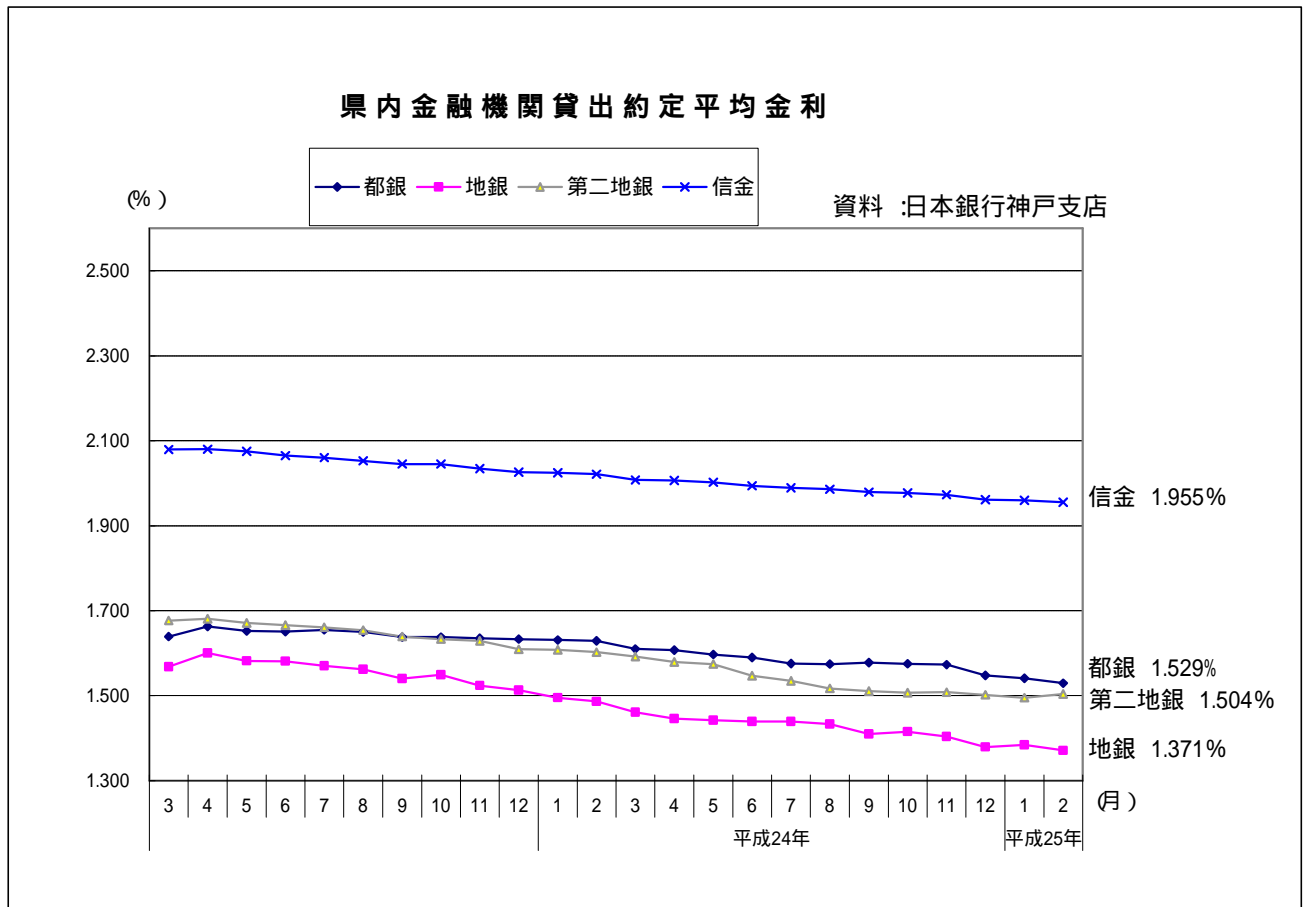
・都銀等 = 都市銀行、信託銀行、新生銀行、シティバンク銀行の計。

・その他 = 信用組合、労働金庫、商工中金、国民公庫、中小公庫の計。ただし、預金は国民公庫、中小公庫を除く。

2月の預金は、前年を上回って推移している。(前年比+2.4%)

2月の貸出は、前年並みの水準で推移している。(前年比+0.4%)

2月の貸出約定平均金利(ストックベース)は、緩やかに低下している(2月末水準 1.651%、前月比 0.006%ポイント)。



【倒 産】

県内4月の企業倒産(負債総額1千万円以上、東京商工リサーチ神戸支店)は45件で前年同月比変わらず、負債総額は69億65百万円で同45.7%の減少となった。

倒産件数は、前年同月比同数となり、4月単月では過去10年間(平成16年以降)で最小となった。負債総額は、10億円以上の大型倒産が1件あり、全体の金額を押し上げたが、1億円未満の倒産が31件を占めるなど小口主流となり、単月では過去10年間では2番目に少ない金額となった。

原因別(件数)では、「販売不振」を中心とする「不況型倒産」が32件(全体の71.1%)を占めた。

業種別(件数)では、「建設業」が16件と前年前月比5件の増加でトップであった。

「資本金別」では、「1千万円未満(個人企業含)」の件数が28件で、当月も小規模事業者の倒産が特徴的であった。

「産業別」では、「建設」が16件でトップ、その他の業種は前年を下回った。

県下の企業倒産は、4月度の件数が3か月連続で40件台となり鎮静状態が続いている。中小零細企業などの倒産抑制に大きな効果がみられた「中小企業金融円滑化法」は、3月をもって終了したが、円滑化法終了後も今のところ金融機関の対応に大きな変化は見られない様子で、監督官庁からの指導や、事業再生を柱とする中小企業施策がその背景にはある。当面、中小零細企業の資金面での息切れを除いては、急激な倒産件数の増加は考え難く、企業倒産は今しばらくは一進一退の推移が予想される。

4月の原因別・業種別の倒産件数

(負債総額1,000万円以上)

原因別						業種別					
	当月	前月	前月比	前年	前年比		当月	前月	前月比	前年	前年比
放漫経営	8	6	2	1	7	建設業	16	16	0	11	5
過小資本	4	3	1	4	0	製造業	6	5	1	6	0
連鎖倒産	0	3	-3	4	-4	卸売業	6	4	2	6	0
赤字累積	5	6	-1	4	1	小売業	3	3	0	3	0
販売不振	27	27	0	30	-3	情報通信業	1	1	0	1	0
売掛金回収難	0	0	0	1	-1	サービス業	12	15	-3	13	-1
その他	1	2	-1	1	0	不動産・運輸業他	1	3	-2	5	-4
合計	45	47	-2	45	0	合計	45	47	-2	45	0

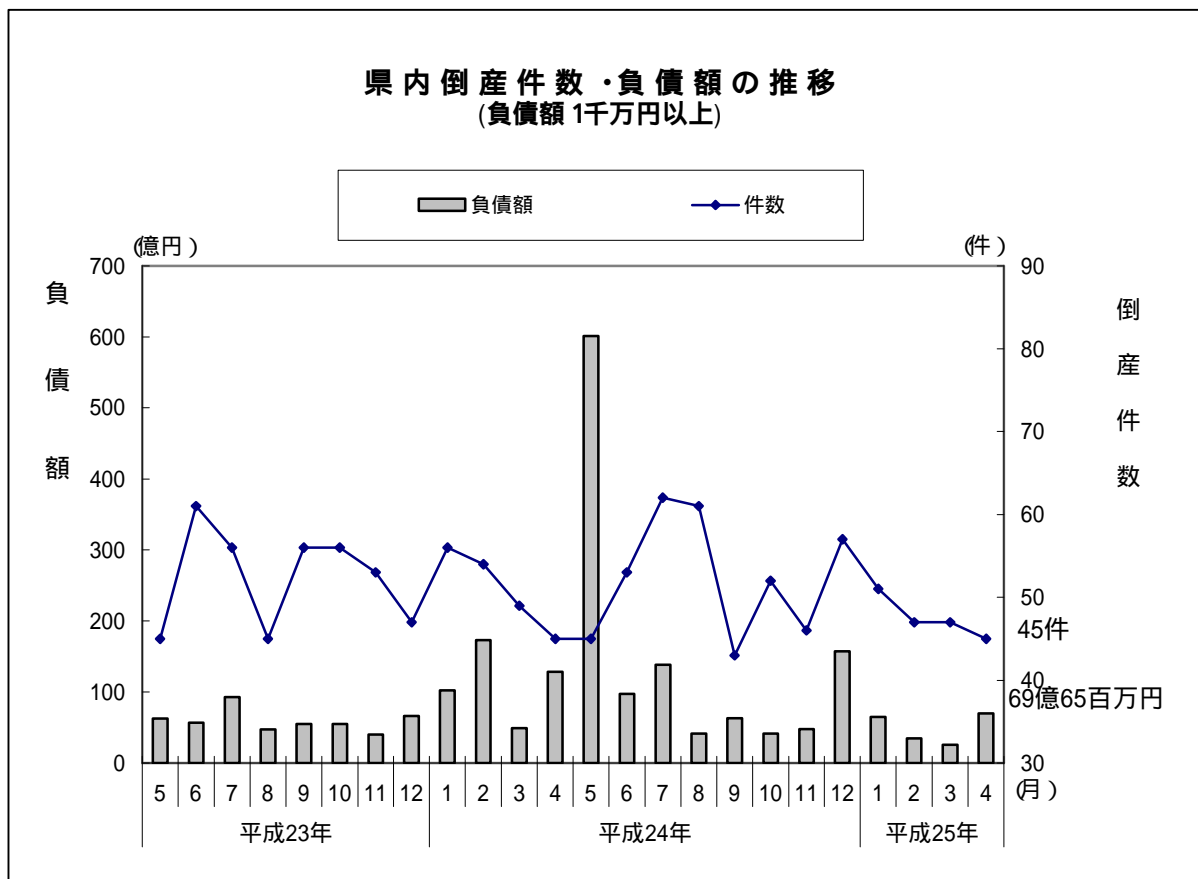
資料：東京商工リサーチ神戸支店

県下企業倒産件数地区別内訳 (負債総額1,000万円以上)

(単位: 件数)

年 月	総数	神戸	阪神	西播	東播	但馬	丹波	淡路
19年 平均	59.3	21.3	13.6	8.3	11.3	1.8	1.3	1.7
20年 平均	62.3	20.6	19.0	7.9	10.6	1.8	1.3	1.1
21年 平均	62.6	21.6	18.5	9.8	9.1	0.9	1.1	1.6
22年 平均	60.8	20.8	20.6	9.0	6.9	1.4	0.7	1.4
23年 平均	52.2	15.2	17.2	7.9	8.7	1.3	1.0	0.9
24年 平均	51.9	16.0	19.4	5.7	6.7	1.3	0.6	2.3
25年 1月	51	13	19	8	3	5	2	1
25年 2月	47	9	21	10	6	0	1	0
25年 3月	47	16	15	5	8	0	0	3
25年 4月	45	13	18	5	7	0	0	2

資料: 東京商工リサーチ神戸支店



県内主要経済指標

項目 年月	鉱工業生産指数(季節調整済)				公共工事請負金額			新設住宅着工戸数		
	兵庫県 (17年=100)		全国 (12年=100)		兵庫県		全国	兵庫県		全国
	指数	前月比	指数	前月比	金額 (億円)	前年比	前年比	戸数 (戸)	前年比	前年比
		%	%		%	%		%	%	
24年 1月	102.9	3.0	95.2	1.9	145	-12.9	8.5	2,823	26.5	-1.1
2月	99.0	-1.2	94.4	-1.6	130	-29.9	16.8	2,314	-11.5	7.5
3月	97.9	-2.9	95.3	1.0	251	-27.6	8.0	2,923	8.9	5.0
4月	96.3	1.5	95.4	-0.2	372	29.5	5.4	2,579	-1.1	10.3
5月	95.0	-0.2	92.2	-3.4	193	22.3	36.7	2,581	23.3	9.3
6月	94.0	-1.3	92.6	0.4	266	49.6	14.1	3,066	8.8	-0.2
7月	95.7	1.5	91.7	-1.0	217	6.0	26.6	3,152	3.5	-9.6
8月	91.6	-4.4	90.2	-1.6	178	-1.6	19.2	2,699	-19.0	-5.5
9月	93.6	1.6	86.5	-4.1	251	-6.0	-1.9	2,534	2.4	15.5
10月	86.7	-7.5	87.9	1.6	269	17.4	28.2	3,051	23.0	25.2
11月	84.5	-2.4	86.4	-1.7	290	55.7	6.2	2,780	2.8	10.3
12月	88.3	4.4	88.8	2.4	192	5.6	15.6	3,193	-6.0	10.0
25年 1月	88.6	-0.7	89.1	0.3	183	26.5	6.7	2,155	-23.7	5.0
2月	r 87.3	0.8	89.6	0.6	120	-7.3	-4.8	2,607	12.7	3.0
3月	p 90.5	3.7	90.4	0.9	219	-12.4	-11.7	2,732	-6.5	7.3
4月					336	-9.4	128.6			
5月										
6月										
7月										
8月										
9月										
10月										
11月										
12月										
資料	兵庫県統計課		経済産業省		西日本建設業保証(株) 兵庫支店			兵庫県住宅地課		国土交通省

* p は速報値 r は確報値

項目 年月	乗用車新車登録台数 (含む軽自動車)			百貨店売上高			輸出入状況(神戸港)			
	兵庫県		全国	兵庫県		全国 (既存店)	輸出		輸入	
	台数	前年比	前年比	金額 (億円)	前年比	前年比	金額 (億円)	前年比	金額 (億円)	前年比
		%	%		%	%		%		%
24年 1月	14,266	40.4	38.4	196	-1.7	-1.2	3,277	-10.3	2,319	5.9
2月	18,388	31.4	31.7	156	2.3	-0.5	4,375	-1.9	1,796	-0.2
3月	24,941	68.1	76.3	179	2.3	14.2	4,879	-5.1	2,225	-4.9
4月	11,728	103.0	99.5	165	-1.7	1.6	4,398	-6.1	2,151	-11.4
5月	12,881	68.6	68.6	165	2.7	-0.9	3,935	-7.1	2,359	0.4
6月	16,893	47.4	46.8	164	-0.2	-1.2	4,418	-6.3	2,088	-13.1
7月	16,384	43.0	42.3	203	-1.4	-3.3	4,239	-8.1	2,227	-2.1
8月	11,762	14.6	15.6	151	0.6	-0.8	4,032	-5.0	2,256	-6.6
9月	15,226	-4.2	-3.7	147	2.1	-0.0	4,271	-6.6	2,041	-6.5
10月	11,441	-6.3	-6.7	169	0.2	-2.2	4,032	-9.9	2,318	2.8
11月	12,576	-3.9	0.2	185	4.2	2.5	3,800	-9.2	2,271	-3.2
12月	11,342	-2.3	-2.0	258	0.3	-1.0	4,444	-5.2	2,137	-0.6
25年 1月	13,378	-6.2	-7.4	192	4.6	0.3	3,522	7.4	2,371	0.9
2月	16,941	-7.9	-8.1	143	-0.9	0.7	r 3,860	-11.8	r 2,058	14.5
3月	21,468	-13.9	-11.0	176	3.5	4.0	p 5,051	3.5	p 2,235	0.3
4月	11,979	2.1	0.7	160	-2.9					
5月										
6月										
7月										
8月										
9月										
10月										
11月										
12月										
資料	自販連兵庫県支部 兵庫県軽自動車協会			兵庫県百貨店協会		近畿経済 産業局	神戸税関			

* p は速報値 r は確報値

* 百貨店売上高の前年比は店舗調整後

項目 年月	有効求人倍率 (パートを含む)		県下常用労働者数 (30人以上,月末推計)		県下名目賃金指数 (定期給与,30人以上)		消費者物価指数 (22年=100)			
	兵庫県	全国	全産業 (千人)	前年比 %	指数 (22年=100)	前年比 %	神戸市		全国	
							指数	前年比 %	指数	前年比 %
24年 1月	(季調済) 0.65	(季調済) 0.73	1,053	5.2	98.7	-0.2	99.7	0.2	99.6	0.1
2月	0.66	0.75	1,049	5.1	98.9	-0.3	100.1	0.6	99.8	0.3
3月	0.68	0.76	1,043	4.7	100.1	-1.0	100.4	0.7	100.3	0.5
4月	0.68	0.79	1,053	4.4	100.5	-0.3	100.3	0.5	100.4	0.4
5月	0.69	0.81	1,052	4.0	98.8	-0.9	100.2	0.3	100.1	0.2
6月	0.70	0.82	1,051	3.8	100.2	0.1	99.8	0.0	99.6	-0.2
7月	0.70	0.83	1,054	3.8	100.0	-0.1	99.6	0.0	99.3	-0.4
8月	0.69	0.83	1,051	3.9	99.6	0.1	99.9	-0.1	99.4	-0.4
9月	0.68	0.81	1,052	4.4	99.3	-0.5	99.7	-0.5	99.6	-0.3
10月	0.67	0.80	1,047	4.2	99.3	-0.6	99.5	-0.9	99.6	-0.4
11月	0.67	0.80	1,048	4.0	99.8	-1.6	98.9	-0.7	99.2	-0.2
12月	0.67	0.82	1,048	4.0	100.4	0.5	98.9	-0.6	99.3	-0.1
25年 1月	0.71	0.85	1,040	-1.2	99.4	0.7	98.7	-0.9	99.3	-0.3
2月	0.71	0.85	1,035	-0.4	99.8	0.9	r 98.7	-1.4	99.2	-0.7
3月	0.71	0.86	1,032	-0.2	100.5	0.4	p 99.0	-1.4	99.4	-0.9
4月							99.4	-0.9		
5月										
6月										
7月										
8月										
9月										
10月										
11月										
12月										
資料	兵庫県労働局		兵庫県統計課			兵庫県統計課		総務省		

項目 年月	国内企業物価指数 (H24.5より22年=100)		県下金融機関 貸出金残高		貸出約定 平均金利	県下企業倒産 (負債1,000万円以上)				
	全国		金額 (各期末)	前年比 %	全国銀行 (年%)	件数 (件)	金額 (億円)	地域別倒産件数		
	指数	前年比 %						神戸	阪神	播磨他
24年 1月	100.9	0.3	150,149	-0.9	1.452	56	102	14	19	23
2月	101.1	0.4	149,482	-1.3	1.442	54	173	17	23	14
3月	101.6	0.3	152,152	-1.3	1.428	49	49	15	23	11
4月	101.7	-0.4	150,310	-0.6	1.424	45	128	14	14	17
5月	101.2	-0.7	150,352	-0.3	1.421	45	601	16	18	11
6月	100.5	-1.4	150,636	0.3	1.409	53	97	18	25	10
7月	100.0	-2.2	150,531	-0.1	1.403	62	138	16	28	18
8月	100.2	-1.9	150,189	0.3	1.401	61	41	22	22	17
9月	100.4	-1.5	151,823	0.8	1.385	43	63	15	14	14
10月	100.1	-1.0	149,833	0.1	1.383	52	41	22	11	19
11月	100.1	-0.9	150,053	0.0	1.378	46	48	12	17	17
12月	100.3	-0.7	151,415	-0.1	1.364	57	157	11	19	27
25年 1月	100.6	-0.2	150,340	0.1	1.358	51	65	13	19	19
2月	101.0	-0.1	150,096	0.4	1.346	47	34	9	21	17
3月	r 101.1	-0.5			1.325	47	25	16	15	16
4月	p 101.4	0.0				45	69	13	18	14
5月										
6月										
7月										
8月										
9月										
10月										
11月										
12月										
資料	日本銀行				(株)東京商工リサーチ 神戸支店					

* p は速報値 r は確報値